

会 議 録

会議の名称		第2回 桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年9月6日 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		桜南小学校 CAI 室		
事務局（担当課）		生涯学習推進課		
出席者	委員	南 栄一、丸山美知江、店曲 孝仁、山中 真弓 根本 寿史、樽味 幸恵、増田 望、松本 和香 大平 佳代、齋藤 樹恵、小川 友紀、天谷 恭子 並木中学校：校長 額賀 敏行 教頭 高崎 満 教務主任 横山 賢裕 桜南小学校：校長 奥沢 志乃 教頭 春田 友則 教務主任 漆原 英明 並木小学校：校長 大村 千博 教頭 稲垣 章一 教務主任 末永 康子		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課課長：澤頭由紀子 生涯学習推進課参事：山口 健次 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」		
会議録署名人		確定年月日	令和 年 月 日	
会議次第	1 開 会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 授業参観 5 協 議 熟議「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」 6 その他 ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について 7 閉 会			

<審議内容>

1 開会

南座長：ただ今から、令和6年度 第2回 桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を開会いたします。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。桜南小

学校漆原先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
参加委員：お願いします。

南座長：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくをお願いします。

2 挨拶

南座長：挨拶に移ります。はじめに、座長の私から御挨拶させていただきます。
(座長が挨拶をする。)

続きまして、額賀学園長お願いします。

額賀学園長：テーマ「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」に基づいてよろしくをお願いします。つくば市は、子どもの幸せを共通の願いとし、教育大綱の「一人一人の幸せ」を最上位目標としています。

私が子どもたちと学校生活を送っていて一番うれしいことは、生徒の笑顔を見られることです。笑顔で挨拶してくれたり、コミュニケーションを取ってくれたりすると、うれしい気持ちになります。

数年前の新型コロナによる休校明けでは、久しぶりの部活動の後に声をかけた際の笑顔の返しが今でも目に浮かびます。そんな笑顔がたくさん見られる桜並木学園であってほしいと思いますし、将来、どんな場所でも笑顔であってほしいと願っています。それでは、協議よろしくお願ひいたします。

3 前回の議事の確認

南座長：本日は、桜並木学園の第2回コミュニティ・スクール推進会議の熟議等に入る前に、まずは第1回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。

では、進行に戻ります。別紙1（前回の会議録）を見てください。前回の要点をまとめますと

- ①委員の自己紹介から座長、副座長選出
- ②学校グランドデザイン説明と教育活動紹介
- ③熟議「地域から見た子ども、学校から見た子ども」

などについて話を深めました。

なお、詳しい内容に関しては、市のHPに掲載されますので御確認ください。

※熟議「地域から見た子ども、学校から見た子ども」

短い時間で恐縮ですが、会議録につきまして、何かコメント等ございましたらお願いいたします。

(なし)

よろしいでしょうか。何かありましたら、後日でも結構ですので、各学校にでもご連絡いただければと思います。

本日ですが、10:30 から授業参観が予定されております。この授業参観は、この委員のみとなり、傍聴者の方は御参加いただけません。
(傍聴者なし)

春田教頭：10:35 から3時間目となっています。少し時間がありますので、このまま協議を始めておいて、10:30 になりましたら協議の時間を十分にとるために、参観に各教室を回ります。各教室 30 秒ほどとなり、全教室を回ると 20 分程度になります。

4 授業参観

(授業参観 20 分程度)

5 協議

南座長：これより、熟議に移りたいと思います。

本日の熟議は「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」のテーマとなっております。熟議を進行するにあたり、ファシリテーターを教頭先生にお願いしたいと思います。具体的・詰めた内容を話し合っていたきたいのと、具体的にどうコミュニティ・スクールを活用していくかを話し合っていたいただければと思います。

皆さん、よろしいでしょうか。

では、教頭先生よろしくお願いいいたします。

春田委員：

- ・各学校が持ってきたパソコンでパワーポイントを立ち上げて記録し、後でモニターを使って共有してください。
- ・グループ協議後、各グループの話合い内容を発表します。

【桜南小】

・桜南小から

○育てたい姿→学校や地域など、その環境を愛し、笑顔で生きていくことができる。

○今後のコミュニティ・スクールの活動について→専門職を生かせる活動

○児童が笑顔で過ごせる安心・安全な環境をコミュニティ・スクールでつくりたい。

・コミュニティ・スクールの活動を児童にも見える化

・例：それぞれの場所で看板などを使って紹介し、互いのメリットに。

○専門職を生かせる活動

・様々な仕事・専門をもつ人材がいる。

・学校の業務で、先生以外ができること。

例：講師役(刈払機使用)、樹木伐採、造園、遊具の塗装、防災など
今後のコミュニティ・スクール活用にあたって・期待される付加成果①

○地域の学校・児童への関心を高める。

- ・学校はより伝わりやすい情報公開を心がける。（学校は地域に浮かぶ舟）
- ・スモールステップの活動により、PTA活動へのハードルも下がる。
- 子どもが大人になってからも地域・環境を愛する心情を育てる。
 - ・大人たちが協力して取り組む姿を見せる。（キャリア意識の向上）
- ※取組の「姿」を見せ「成果」を紹介

【並木中】

- 育てたい生徒像
 - ・責任をもって行動できる生徒
 - ・自分で考えて行動できる生徒
 - ・困ったときに相談できる生徒
 →「子どもを守る 110 番の家」の場所を生徒が知らないのではないか。
- 社会学習（地域の方との交流）が少ない。
 - ・コミュニケーションの場が変わってきている。（対面→オンライン）
 - ・地域の方との関わりで、うまく活用していくことが大切。
 - ・大人になったときに、「誰かに聞く」という力は、とても大切。同時に、「伝える力」も大切。
 - 並木中の課題の一つである。
 - ・普段から大人と話せるような環境づくり。
 - ・地域の方が声掛けをしても、不審者と捉える生徒もいる。
- ボランティアの募集の仕方を変える。
 - ・地域の回覧板を活用する。
 - 地域コーディネーターが主体として動く。
 - ・地域の中で、やりたい方もいらっしやるはず。
 - 情報を受け取る方法がない。
 - ・明らかに情報発信が少ない。
 - SNSの活用
 - ・まずは環境を作る。

【並木小】

- どういう子どもに育てたいか。
 - ・幸せな人生を送るために。
 - ・自ら課題を解決するために。
 - ・困難に負けない。
- 保護者や地域は何を望んでいるかを把握する。
 - ・学校からの情報を望んでいる。
 - ・公園を中心としてつながれる可能性がある。
 - ・以前は保護者が剪定など、物理的アプローチもあった。
 - ・どんなアプローチも意味があり、継続が重要。
- 相互に学び合える

- 保護者でない地域の方も学校教育パートナー制度に登録できるといい。
- 学校は、本当は積極的に情報発信したい。
- でも学校も地域の自治組織がよくわからない
- 並木まつりは自発的な集まりで、つながり構築の可能性
- 目指したい子どもの姿について。
 - ・「自ら考える力」
 - ・ChatGPTに負けない、生み出す力
 - ・非認知能力を高める。
 - ・ペーパー至上主義も両輪。

春田委員：「以上で熟議を終わります。」

南座長：春田先生、各学校の先生方ありがとうございました。これで熟議は終了になります。

6 その他（11：30～11：45）

南座長：この後ですが、今日の熟議で話し合ったことについて、御出席のみなさんから何かありますでしょうか。

南座長：最後に、次回開催予定日等について、春田先生、よろしくお願ひします。

春田委員：本年度3回目のコミュニティ・スクール推進会議についてご連絡します。次回ですが、第3回は並木小学校で令和7年2月13日10時00分からの予定です。詳細は、追って文書等で御連絡したいと思います。

本日の「協議」の内容は、以上になります。

また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思ひます。委員の皆様、よろしいでしょうか。よろしくお願ひいたします。

以上をもちまして、令和6年度第2回桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年度第2回桜並木学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時:令和6年9月6日(金)

10:00~12:00

場所:桜南小学校 CAI 教室

次 第

1 開会

2 挨拶

3 前回の議事の確認

4 授業参観

5 協議

熟議「地域と学校が協力して育てたい子どもの姿とは」

6 その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

7 閉会

会 議 録

会議の名称	第1回 桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時	令和6年6月5日(水) 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所	並木中学校会議室B		
事務局(担当課)	生涯学習推進課		
出席者	委員	南榮一、丸山美知江、店曲孝仁、山中真弓 根本寿史、樽味幸恵、増田望 大平佳代、齋藤樹恵、小川友紀、天谷恭子 並木中学校：校長 額賀敏行 教頭 高崎満 教務主任 横山賢裕 桜南小学校：校長 奥沢志乃 教頭 春田友則 教務主任 漆原英明 並木小学校：校長 大村千博 教頭 稲垣章一	
	その他		
事務局	教育局次長：久保田靖彦 生涯学習推進課課長：澤頭由紀子 生涯学習推進課係長：飯島遊 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏		
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由			
議題	1 学園運営の基本方針について 2 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介 3 熟議 テーマ「地域から見た子ども、学校から見た子ども」 4 その他		
会議録署名人		確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開 会 2 選任通知書交付 3 教育長挨拶 4 説明事項 5 座長・副座長の選出 6 協 議 (1) 学園運営の基本方針について (2) 学園の教育活動の紹介 (3) 熟議 テーマ「地域から見た子ども、学校から見た子ども」 (4) その他 ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について 7 閉 会		

<審議内容>

1 開会

事務局：ただ今から、令和6年度 第1回 桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を開会いたします。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案として並木中学校横山先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

参加委員：お願いします。

事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いします。

2 選任通知書交付、

事務局：始めに「選任通知書」の交付をいたします。通知書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。

(「選任通知書」を天谷委員に交付)

ありがとうございました。お席にお戻りください。

この推進会議は、協議会を設置するまでのおおむね1年間を予定しています。また、皆様の選任通知書については、机の上にございますので御確認ください。委員の皆様の自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただいております。御了承ください

3 挨拶

・森田教育長より(久保田次長代読)

「皆さんこんにちは。教育長の森田でございます。

本日はお忙しい中、第1回桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議に参加していただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては当推進会議の委員を快くお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。

さて、近年の急激な社会の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化している状況があり、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。皆様にお配りしたつくば市教育大綱においても、「保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもの育ちの場を支える。」ことが、今必要なこととされています。

こうした背景を踏まえ、つくば市では、「コミュニティ・スクール」を導入していくこととしました。「コミュニティ・スクール」は、学校と地域、保護者がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映することで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。また、学校を核とした交流を通して、地域の活性化を期待することもできます。

つくば市では、令和4年度に吾妻学園をモデル地域として先行的にコミュニティ・スクールを導入し、昨年度は8学園、今年度は新たに6学園で導入する計画です。その中で見えてきた課題としては、この仕組みをいかに地域に周知し、市民の方々の理解を得ていくかにあると思ってい

ます。そのため、教育局では、出前講座のメニューを新設するなど、「コミュニティ・スクール」の周知に努めているところです。

桜並木学園においては、本年度よりコミュニティ・スクールの導入が始まります。皆様には、それぞれの立場から、子どもたちの未来のために何ができるか、意見を出し合っていただければと考えています。つくば市の教育のさらなる充実に向け、どうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

(久保田次長より)

昨年度、研究発表会があり、子どもたちは主体的に動いていました。本日は、活発な意見をして、盛り上げていただければと思います。

4 説明事項

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについて御説明させていただきます。

事務局：生涯学習推進課社会教育主事村上と申します。よろしくお願いいたします。わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
- 2 コミュニティ・スクールとは
- 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは

について御説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします

配布されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を送る、ことを最上位の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子供たちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後地域の多くの人々が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと考えています。つくば市の学校教育を所管している学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走というスローガン」のもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものかを御説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと地域とともに子供を育てる学校と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子供たちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。もっと踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話し合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

桜並木学園は今年度、コミュニティ・スクール推進会議とって準備段階の会議を実施することになっています。来年度は協議会とって、法に位置付けられたコミュニティ・スクールの本格設置となります。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょう。

現在、学校では、「いじめ、不登校」、「教員の業務量増加」、地域では、「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子供たちの成長を支えたりする必要があります。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示ししている4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。学校運営協議会では第1回目に学園長・学校長が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明を行います。

その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことから学校運営協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるということです。これから始まる学校運営協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べることができます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする教育目標等に合った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員求めることなどです。

④の機能として学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。現在、桜並木学園はコミュニティ・スクール推進会議という準備段階の会議となりますが、来年度には協議会という法に基づいた本格設置となります。委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていきますので、御協力をお願いいたします。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか。何を実現したいのか。という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。

熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋にしるし、横造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映してほしいという意図のもとこのようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪およびハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しをするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときは、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずですが。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「ようこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々のかかわりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々とかかわることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。新しいことをやらなくてもよい 運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべきか、地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

- ①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としていること
- ②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること
- ③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること
- ④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ
- ⑤地域と学校が連携した様々な活動、地域学校協働活動が始まることです。

つくばの未来の創り手となる、子供たちのために御協力をよろしく願いいたします。

以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。

(質疑応答) なし

5 座長・副座長の選出

事務局：協議の前に、座長と副座長の選出を行いたいと思います。選出につき

ましては、令和6年度つくば市コミュニティ・スクール推進会議開催要項第6条第2項に「座長及び副座長は、構成員の互選によって定める」とあります。本年度については、コミュニティ・スクールを立ち上げていくということもあり、各校と教育局で協議の上、座長、副座長につきまして提案させていただきたいと思っております。皆様いかがでしょうか。

事務局としては、南委員に座長を、丸山委員に副座長お願いしたいと思っております。いかがでしょうか。

参加委員：（拍手）

6 協議

(1) 学園運営の基本方針について

○学園グランドデザインについての説明

並木中学校より（額賀校長）

- ・昨年度、コミュニティ・スクール推進会議が始まるにあたり、グランドデザインを見直した。桜並木学園の教育目標は、「自ら未来をひらく力の育成」
- ・目指す児童生徒像は、「進んで学び新たな発想ができる児童生徒」「自他のよさを認め、思いやりの心をもって積極的に周囲と関わる児童生徒」「可能性に向かって自らたくましく行動できる児童生徒」
- ・7年生は、桜南小、並木小で育てていただき、学園が目指す生徒になってきている。
- ・これからも、保護者と連携した児童生徒を育成していく。
- ・また、学校評価をもとにした改善もしている。
- ・学園のグランドデザインは、家庭の教育力に関して、これまで取り組んできた内容を記載している。
- ・地域の教育力に関しては、地域と連携した挨拶運動等、日常的に何ができるのかを考えている。
- ・キャリア教育に関しては、ライオンズクラブの協力のもと、15種類の職種の方々に来ていただき6年と8年が学ぶ機会をつくる。

(2) 学校の教育活動の紹介

（桜南小春田教頭より）

- ・本校は、1876年開校した。麻布教育研究所の永島先生を講師に迎え、3年目を迎える。学びの共同体ということで、45分間学び続ける児童を目指す授業改革を行っている。課題設定や場の工夫、グループで進める工夫を行っている。
- ・スポーツフェスティバルは、児童が主体的に進めた。昨年度の3月から児童が話し合いを始め、取り組んだ。
- ・桜南フェスティバルは、学校とPTAが協力し、子どもが普段できない体験型のブースを設置するなどした。
- ・ボランティア活動は、読み聞かせ、桜南キッズ（英会話）、図書活動など

を行っている。

(並木小大村校長より)

- ・キャッチフレーズは、「創ろう！みんなが幸せな並木小学校」で、子どもの成長をみんな（子ども・教職員・保護者・地域の方々）で喜び合える学校にしていこうということである。
- ・なかよしの会、体力テストのサポートなどを通じて、行事や授業を通して自己有用感、自己肯定感を高める取組をしている。
- ・外部指導員による学習では、3年生のリコーダー講習会、本物体験の充実を図っている。
- ・国際理解教育では、きらきら教室（日本語教室）によるこいのぼりづくり、日本語加配訪問等を行っている。
- ・5年ぶりの全校運動会を行った。
- ・係活動では、高学年が中心となり、自覚を高める取組をしている。
- ・校内研修では、「挑戦する心を持ち、生き生きと自分で考えることができる児童」の育成を目指し、探究的な学び「問い」をどうもたせるか取り組んでいる。また、協働的な学びを進めるためのICTの活用に取り組んでいる。

(並木中高崎教頭より)

- ・組織目標は、「生徒が身に付けたい力」「教師が発揮する指導力・運営力」を意識して取り組んでいる。
- ・哲学対話では、「主体的・対話的で深い学び」になるよう昨年度は、体育祭の話合いで行った。
- ・職場体験でも様々な事業所に行って体験を行った。
- ・オープンキャンパスは、並木小、桜南小の児童が来校した。
- ・幼稚園、保育所も近くにあり、交流を行った。
- ・本物の体験として、大洗高校のマーチングバンドを見る機会をつくった。
- ・異学年交流として、4月の初めに、同クラスの異学年交流を行った。
- ・対話を深めるためにこれからも授業改善を行っていく。

(質疑応答) なし

- ・グラウンドデザインについて承認

(3) 熟議

- ・「地域から見た子ども、学校から見た子ども」として、熟議を行う。ファシリテーターは教頭先生にお願いしたい。

(高崎教頭より説明)

- ・模造紙に、軸を決めていただくとよい。

- ・付箋には、単語を書き、貼っていく。
- ・11:45にはまとめて、発表する。

学校ごとに発表

(桜南小)

- ・「主体性」「人柄」についての意見が多かった。
- ・地域からは、あまり顔が見えないとの意見があった。
- ・家での学習が工夫されている。
- ・廊下を走る児童もいる。
- ・下校時のマナーが気になる。

(並木小)

- ・仲が良い。
- ・人懐こい。
- ・元気に遊ぶ姿がある。
- ・感情のコントロールが苦手。
- ・受け身。
- ・挨拶が少ない。
- ・学校の情報が少ない。
- ・「自ら考える力」「積極性、失敗を恐れない強さ」を目指したい。
- ・ChatGPTに負けない、生み出す力を付けたい。

(並木中)

- ・真面目で素直な生徒が多い。
- ・思いやり、気が利く子も多い。
- ・ネクタイを今でもしている、ブレザーも着ている。自己決定力が弱い。
- ・受け身、小さくまとまっている。
- ・交通ルール、社会性、上下関係に課題がある。

(質疑応答)

○山中委員

- ・桜南小の麻布教育研究所による取組はすごくいい方向になっている。
- ・修学旅行の行き先、運動会の競技に関しても、子どもたちが決めている。
- ・桜南小で行っている取組をぜひ見に来てもらいたい。桜並木学園として共有したい。

(4) その他

○コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

春田教頭より

今回は、令和6年9月6日(金) 10:00から桜南小学校での開催を予定。場

所は今後追って連絡する。

7 閉会

事務局：南座長、協議進行、ありがとうございました。本日の会議の内容は以上となります。

なお、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思えます。委員の皆様、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。以上をもちまして、令和6年度第1回桜並木学園コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

